

湯  
五月

水はかた  
釣  
見ゆる

流石山

泉の

無き無の  
水はうら  
玉橋  
82

行僧  
舟の  
画

源実朝  
年十二才  
石橋の上  
かみ  
み

狩

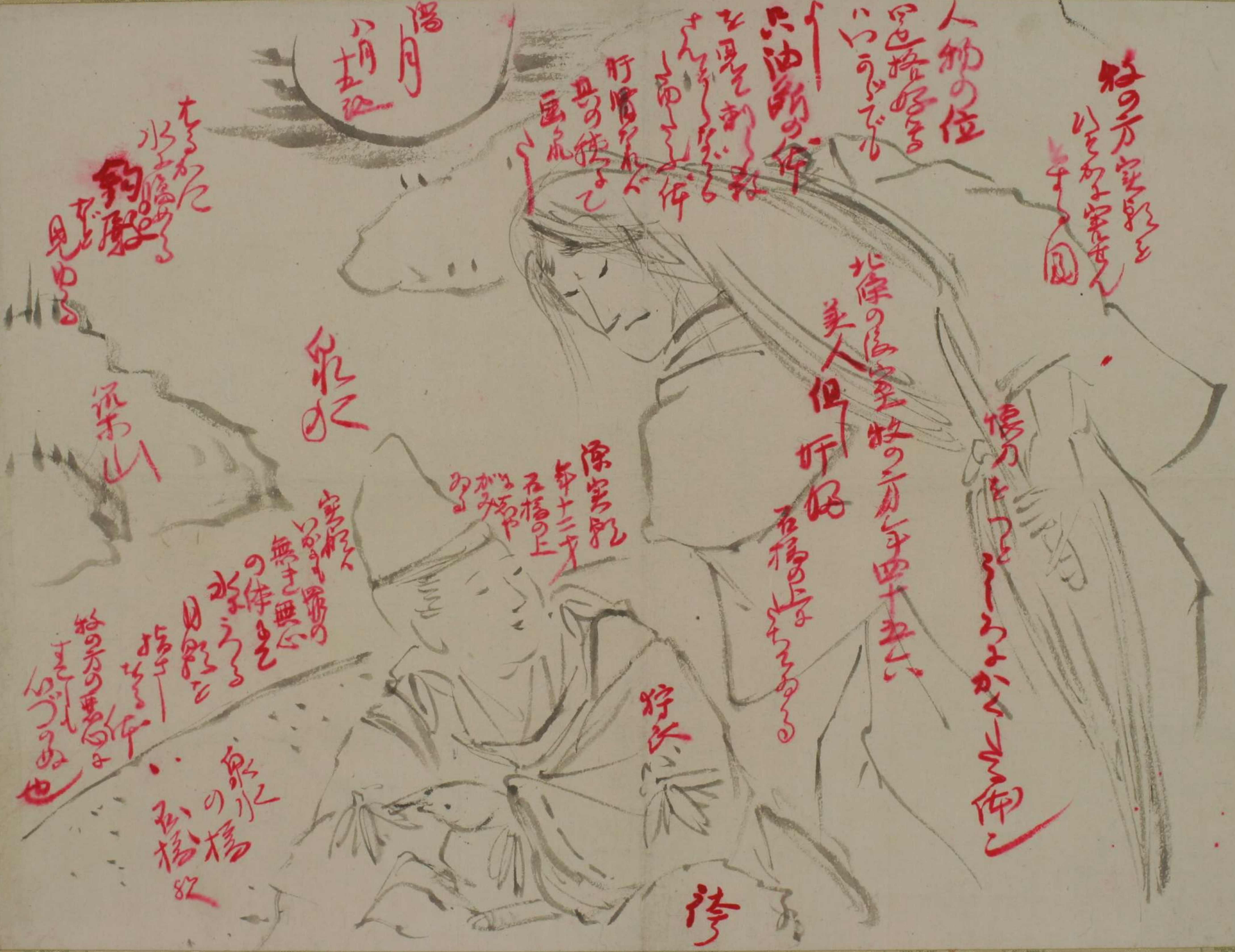
狩

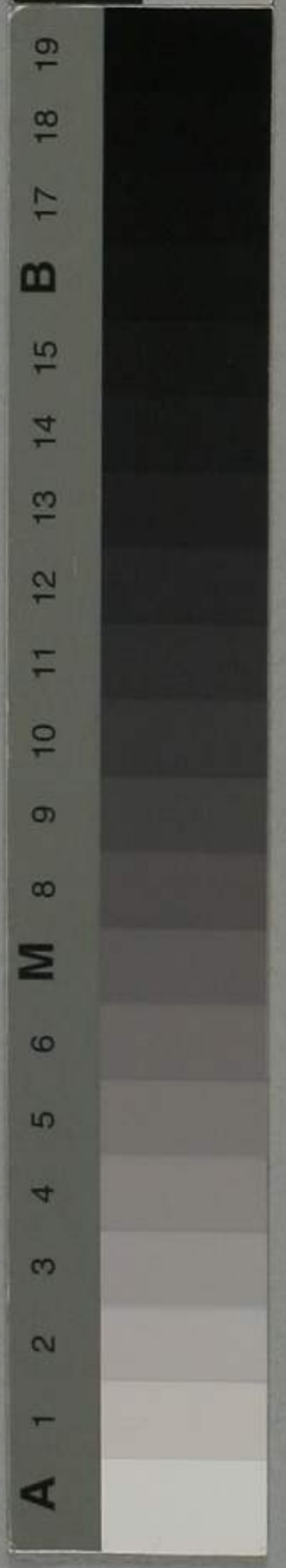
只油  
人物の位

美人  
但  
好

橋

舟の方  
い





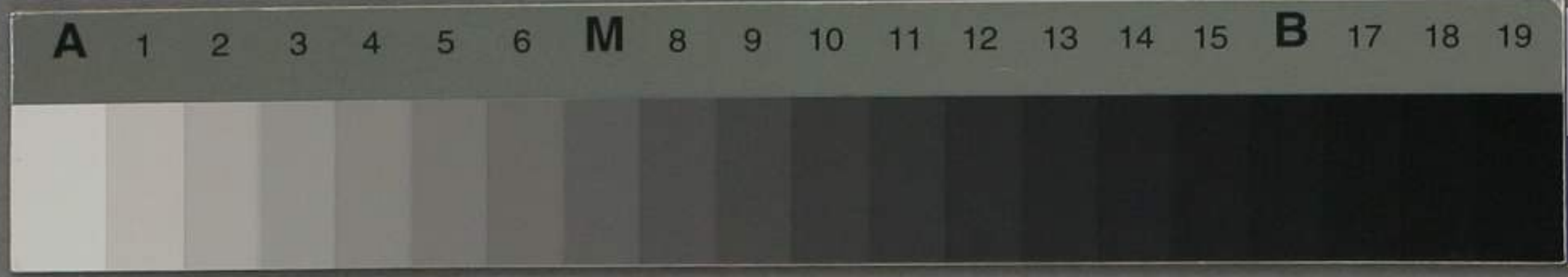
坪内逍遙先生筆牧の方下繪

本問文庫  
文庫 14  
B 68

坪内逍遙先生筆牧の方口繪下繪

昭和三十一年八月  
本間久雄題





其陽子利牧の方(明治三十年刊)の口陰下陰  
 (指定画)あり。渡邊省亭の筆にまいる右の  
 口陰(とち)選のこの下陰によさることゆゑあり。  
 たいし省亭と画の相自の立場より下陰とん  
 の空(とち)選と選けて今別様のおかしさの  
 ものをつくりださる。画の省亭の存すん  
 并せんふし。よほこの下陰とこと省亭遺族  
 の藏にかゝるもの数年前してひびいてゆか  
 有つす。いさかして素田を記すといふのこ。

昭和三十六年八月

中村人

